

## Human Interface 2002

## サッポロ

—「ローカリゼーション」の時代へ向けて—

ヒューマンインタフェースシンポジウム  
2002

2002年9月1日(日)～3日(火)

北海道大学 学術交流会館(<http://www.his.gr.jp/his2002/>)

## 特別講演

9月2日(月) 17:00～18:00(予定)

「アジア中央部の民族音楽にひかれて - 喉歌の魅力とその謎 - 」

嵯峨 治彦氏(「のどうたの会」代表)

URL: <http://tarbagan.net/nodo/>

宇宙の物理にいどんでいた北大の大学院生がモンゴルで出会ったものは・・・天上からの響きにも聞こえる喉歌、馬頭琴、そして無限に広がる遊牧の地・・・喉歌のプロになった演者が、実演と映像でその神秘を語り、コラボレーション実験を通じて歌声の謎を解き明かす。



## イブニングセッション

9月2日(月) 18:30～(予定)

サッポロビール博物館スターホール

## 研究発表

9月1日(日)～9月3日(火)

## 講習会

9月1日(日) 午前

コース1 「バリアフリーとユニバーサルデザイン - 実用化への道 - 」

1. 喉頭摘出者のための電気式人工喉頭 - 実用化へ至るまで -

橋場 参生(北海道立工業試験場)

2. 聴覚障害者のための手話支援技術 - 実用化への課題 -

鎌田 一雄(宇都宮大学)

3. 視覚障害者のための福祉工学 - 実用化への期待 -

伊藤 精英(公立はこだて未来大学)

4. 神経筋疾患におけるインターフェースの適合と活用

- 環境制御装置の実用例 -

田中 栄一(国立八雲病院)

5. 人間中心アプローチによる“つながり感”通信環境の設計

- 実用例の紹介 -

伊東 昌子(NTTアドバンステクノロジー)

コース2 「バーチャルリアリティー（VR）の生体影響と評価手法  
ーヒトに優しいVRシステムをめざしてー」

キー・ノート：VRシステムにおける生理的・心理的影響評価法

岩田 洋夫（筑波大学）

1. 映像刺激の視覚系への影響とその評価

鈴木 康夫（札幌医科大学）

2. 映像刺激の自律神経系への影響とその評価

吉澤 誠（東北大学）

3. HMDの設計と評価

元日田 融（ソニー）

4. VR酔いのメカニズムと評価

中川 千鶴（鉄道総合科学研究所）

5. 安全な映像製作のための支援データベース

千葉 滋（シャープ）

コース3 「HIのためのアプリケーションツール

- 企業の取り組みと情報教育への活用例 -」

1. HIのためのアプリケーションソフトの開発動向

吉田 真澄（富士通研究所）

2. 普及型CG制作ソフトの紹介とHIへの応用例

江島 照玖（三徳商事）

3. 数式アプリケーションソフトの情報教育への活用例

棚橋 純一（中京大学）

4. CGアプリケーションツールの情報処理教育への活用例

後藤 敏行（横浜国立大学）

参加費

		一般	学生
シンポジウム	会員・協賛学会員	13,000円	1,000円
	非会員	19,000円	5,000円
( 論文集は含みません。なお、学生でも発表者は一般と同じ価格になります。)			
講習会	会員・協賛学会員	10,000円	2,000円
	非会員	12,000円	4,000円
( コースは事前選択しますが、当日のコース間の移動は自由です。)			
イブニングセッション		6,000円	5,000円

問合先

ヒューマンインタフェース学会事務局  
〒600-8815  
京都市下京区中堂寺粟田町1番地  
京都市リサーチパーク6号館304号室  
TEL：075-315-8475 / 075-326-1331  
FAX：075-326-1332  
E-mail：symp@his.gr.jp  
URL：http://www.his.gr.jp/his2002/

または  
北海道大学  
電子科学研究所 感覚情報研究室  
伊福部 達 井野 秀一  
〒060-0812  
札幌市北区北12条西6丁目  
TEL：011-706-2414 Fax：011-706-4968  
E-mai：his2002@sense.es.hokudai.ac.jp  
URL：http://www.his.gr.jp/his2002/